

題名 インターハイ準優勝をして

〇〇〇〇高校 〇〇〇〇部

〇年 氏名 〇〇〇〇

1 中学生の から憧れていたインターハイの舞台。イン
2 ターハイに するために〇〇〇〇高校を受験、夢だ
3 った決勝に とができました。
4 1年のイ ハイ予選では2年生の生 3

題名はおまかせします。

学校名、部活動名

学年、氏名を記入

7 のヒラキを何度も先送して
8 覚えています。まだ体もし
9 年生には及ばず、課題をしっか
10 した。
11 それからの私は体を強化すると共にスピード・パワ
12 ー・キレを上げることが課題として練習に取り組みまし
13 た。インターハイ予選で敗れた悔しさを原動力とし、苦

作成について

- 文字数 25文字×48行(題目、学校名、所属運動部、学年、氏名は別)
本文1,200字(1,000字以上1,200字以内)
- 書式 メール添付にて各学校へ送信、及び高体連ホームページよりダウンロードしてご使用下さい。
- 文字 10.5ポイント 明朝体 2桁以上の算用数字は半角 1桁は全角
- その他 ①顔写真と競技写真を各1枚、必ず添付して下さい。
(競技写真は競技中あるいは、ユニフォーム姿、表彰中のものでも構いません)
②書式にある送付先住所欄を必ず明記して下さい。
発刊は平成30年度5月を予定しています。

36 てして、最後の戦い。相手は宿敵の〇〇選手。選抜で
37 は旗一本差で敗れたので今回は絶対に勝ちたい思いで
38 挑みました。結果は0-7で完敗。しかし、全ての力を
39 出し切ることができたので、悔いは残りませんでした。
40 その瞬間から「次は必ず勝つ」と闘志が湧き上がりまし
41 た。

42 来年は、最後のインターハイ。必ず先生方、部員全員
43 の気持ちを背負い、優勝を勝ち取る覚悟でいます。そし
44 て、憧れの選手になれるように日々精進していきたく
45 思います。

46

47

48

49